

2024

愛川町移住定住  
パスポート

手カバのイナカ  
愛川町!

— SNSもほぼ毎日更新中 —  
愛川町の最新情報はこちらから



この冊子に掲載されている制度・情報は、令和6年4月1日時点のものです。  
また各支援には条件があります。詳細はお問い合わせください。

# 仕事

WORKS

愛川町に勤めると、会社の上司が野菜をくれます。

「移住者★佐助」では  
こう描いています



第5話

「農園を訪れる土田家」

## 愛川町で、起業する

- 起業にかかる経費の5分の1以内、**最大10万円**の一般起業補助制度。
- また、**テレワーク起業**を志す方へ！  
起業経費の5分の1以内、**最大15万円**を補助します。
- 空き店舗を起業の拠点として活用する場合、改造・改築経費の3分の1以内、**最大20万円**を補助します。



## 愛川町で、職に就く

- 愛川町にある神奈川県内陸工業団地では、**100社**を超える企業が操業しています。  
**圏央道の開通**に伴い、ロジスティクスの拠点としても注目されており、多彩な企業が立地しています。
- 町内の認定こども園、幼稚園、民間保育施設、医療機関、介護サービス/障がい福祉サービス事業所などに就労する保育士、幼稚園教諭、看護職、介護職などの方に、**最大20万円**の奨励助成金を交付します。



## 愛川町で、就農する

- 新規就農直後の経営確立を支援するため、**最長で3年間、資金を交付**します。  
(**最大で月額12万5千円**)
- このほか、**新規就農者奨励金(最大6万円)**もあります。(1回限り)
- さらに、家賃を補助する  
**新規就農者支援家賃補助金**もあります。  
(**最大で月額3万円**)



都心から近い場所で  
豊かな土地を  
探していた。

※生きがいや趣味として耕作したい方でも、小規模農地(10アール以下)の借り受けができるよう、「**あいかわ準農家制度**」を運用しています。



# 暮らし

LIVING

シスカでチイサナマチだけど、エネルギーシユでダイスキ。

「移住者★佐助」では  
こう描いています



第7話

「外国人住民が本人役で登場!」

## まいにちのお買い物も、 交通も充実



- 毎日の暮らしに便利なコンビニエンスストアは**20店舗以上**、ドラッグストア**10店舗以上**、大型スーパーも**4店舗**あります。
- 町内循環バスは、どこで乗っても降りても**1回150円!**  
小児(小学生)は50円、未就学児は無料です。  
「**町民の足**」として、とても好評です。  
(土日・祝日・年末年始はお休みです)



## 住宅を買う、探す

- 親・子・孫などの三世代が町内で同居するため住宅を取得あるいは改修する場合に、その費用の一部を、取得で**上限50万円**、改修で**上限40万円**補助します。



- **スマートエネルギー設備設置**への補助制度があります。設置費用の一部について、各種補助メニューによる算出方法により補助します。



- 空き家を活用して町内にお住まいになる方のために、**空き家バンク制度**を用意。登録された空き家の取得などにかかる費用の一部を補助します。取得で**最大70万円**、解体で**最大30万円**、改修で**最大20万円**などです。



- 愛川町に居住・就労する方が、住宅を取得・増改築をする場合に、対象となる4金融機関から借り入れた資金の利子の一部を補助します。



## いろいろな国の人と、交流できる

- 愛川町には、南米諸国やアジア諸国など、**外国人の方3千人以上**が暮らしています。夏の勤労祭野外フェスティバルでのサンバや国際屋台村の催しなど、**多文化交流**が行われており、外国人向けの料理を提供するお店もあります。
- 外国籍住民の相談窓口の設置や窓口への**翻訳機設置**など、外国人の方も安心して暮らせる環境をつくっています。

かわいい孫と一緒に暮らす夢が  
かなった。



# 子育て

CHILD READING

愛川町は、子育てに奮闘するパパ・ママを応援します。

「移住者★佐助」では  
こう描いています

第10話

「佐助、子育て支援制度を活用!？」

## 新婚生活を応援

- 結婚を機に取得した新居の購入費や新居の家賃、引越しの費用を**最大30万円**助成し、若い世代の新婚生活を応援します。  
(夫婦ともに29歳以下の場合、**最大60万円**)



## 出産・育児を応援

- 妊娠時に**5万円**の出産準備金と、出産時に**5万円分**の子育て応援ギフトを交付します。



- 生まれたお子さんに**育児用品購入助成券を3万円**支給。町内ドラッグストア等でおむつなどの購入に使用できます。

- 高校卒業年齢までの入院・通院医療費の自己負担分が**無料**です。



- 子育て支援センター**では、経験豊かなスタッフが子どもに遊びと触れ合いの場を提供。パパ・ママ同士の仲間作りもできます。

- 「妊娠・出産・子育て総合相談」「伴走型相談支援」**を実施。保健師・助産師が妊娠～子育て期の不安や心配事に対し、切れ目のないサポートを行います。



- スマートフォンなどで、育児の記録や予防接種スケジュールの管理ができるアプリ**「電子母子手帳」**のサービスを行っています。



## 働くパパ・ママを応援

- 町立保育園**6園**、私立幼稚園**1園**、認定こども園**2園**、小規模保育施設**3施設**があります。



- 就労や育児疲れなどで、家庭での保育が一時的に難しくなったときのために、町立保育園2園、認定こども園1園での**一時保育**を利用できます。

- 児童に放課後の遊びや生活の場を提供する**「放課後児童クラブ」**を全小学校で開設しています。



- 送迎や預かりなど、育児サポートを受けたい方・行いたい方の間をとりもつ**「愛川町ファミリーサポートセンター」**を運営しています。

自然の中で、  
のびのびと  
子育てできる。



# 教育

EDUCATION

愛川町の教育のモットーは「豊かな人材の育成」。

「移住者★佐助」では  
こう描いています

先生や友だちが、  
勉強を  
助けてくれた。

第4話

「授業参観はプロジェクションマッピング」

## 学習支援、人材の育成

- 学習習慣を身につけ、学力を伸ばすために、小学校3・4年生および中学生の希望者を対象として、**放課後学習**を全小中学校で実施しています。
- 義務教育9年間を通して学力を伸ばし、さまざまな課題を解決する力をつけるために、小中学校の教職員が連携した、「**小中一貫教育**」を推進しています。
- 県立愛川高校は、県内唯一の「**地域連携型 中高一貫教育校**」。町の全中学校と連携し、確かな学力と豊かな人間性・感性を身につけるプログラムを実施しています。
- 支援を必要とする小学校3年生から中学校3年生までの児童生徒を対象に、学習支援や居場所を提供する「**土曜寺子屋**」を実施しています。
- 全小中学校に**1人1台の情報端末**や**プログラミング教材**を導入し、これからの社会で必要な力を育てます。



## 充実の教育環境

- 小学校給食は、**各学校の給食室で調理**。中学校給食でも、**小学校の給食室を活用した温かい給食**を提供しています。
- 全小中学校の普通教室及び特別教室（理科室等）に**エアコン**を設置。児童生徒の健康面をサポートし、快適な学習環境を作っています。
- 令和6年度、全小中学校の全ての教室でインターネットが活用できるよう、Wi-Fi通信環境の拡大を行います。
- 全小中学校に**学習活動サポーター**と**インクルーシブサポーター**を派遣し、支援を必要とする児童生徒に柔軟に対応しています。
- 全小中学校に**スクールカウンセラー**と**スクールソーシャルワーカー**を派遣し、暴力行為やいじめなどの課題や不登校にも早期に対応します。



## 将来への学びを支える

- 町立中学校の2年生全員が、町内の企業や事業所などで**職場体験**を行います。生徒たちが自身の将来・キャリアを考える機会になっています。
- 高校への通学負担を補助します。バス通学定期代の約**25%**、自転車購入費の**50%**（最大2万円・電動アシスト自転車**最大6万円**）



# 健康

HEALTH

スポーツを愛し、まちぐるみで健康づくりを進めていきます。

大きくなって一緒にスポーツができればいいな。

「移住者★佐助」ではこう描いています

第8話

「お店に劇場!?店主は70歳!」

## スポーツのまち



- 「町一周駅伝」には、毎年多数のチームが参加。正月の愛川路を元気に駆け抜ける人が増えています。
- 子どもからお年寄りまで誰もが楽しめる生涯スポーツを体験できる**スポーツ・レクリエーション・フェスティバル**を開催しています。



- 町営の野球場とソフトボール場が**合計7カ所**。サッカーの試合もできる陸上競技場やウォータースライダーがあるプール、スケートボードが楽しめる施設もあります。



- 町のスポーツ団体をとりまとめる愛川町スポーツ協会には、**21の団体**が所属。多彩なスポーツ教室も実施しています。



## 健康な毎日

- 町内には「**愛川北部病院**」と**25カ所**の**医科・歯科診療所**があります。夜間や休日の救急時にも受診できるよう、近隣市町村と協力して医療体制の充実を図っています。



- 健康に関わる各種の取り組みに、「**健康ポイント**」を進呈します。ポイントは抽選で素敵な特典と交換できます。

- 「**健康度見える化コーナー**」を健康プラザ内に開設し、健康度チェックや健康相談ができます。



## 高齢者の暮らしをサポート

毎日2人で“愛プラ”

- 70歳以上の方に、高齢者バス割引乗車券「**かなちゃん手形**」購入費のうち**5,400円**、**電動アシスト三輪自転車**の購入費の**25% (最大2万5千円)**を助成します。

また、運転免許証を自主返納した75歳以上の方に、**町内循環バス乗車券 (50回分、5年間)**、「**かなちゃん手形**」**購入券**を交付します。

さらに、80歳以上の方には、**5,400円分**のタクシー利用券を交付します。(受けられる助成は年度内に1つのみです)

- 70歳以上の方に、補聴器購入費の一部(**購入費の1/2最大2万円**)を助成します。



- 65歳以上の方に、介護施設などでのボランティア活動に応じて、「**愛川・ささえあいポイント**」を進呈します。**最大10,000円**まで換金できます。





# 移住の先輩たちにインタビュー

## 佐藤さん(左)「年茶屋」年岡さん(右)

2018年  
移住



2013年  
移住

夫婦で古いモノ・和モノが大好き!山で働く夫の勤務先に近いということもあり、古民家への移住を決めました。明治時代に建てられた家を手に入れ、時間をかけてリノベーションし、2019年2月にカフェ「年茶屋」をオープン。お店の雰囲気に合ったワークショップも開催しています。

ご近所の「働く女子」の輪が広がっており、皆と一緒に、愛川町や年茶屋の魅力を発信していきます!(年岡さん)

古き良きものを大切にしたい古民家暮らしに憧れ、年岡さんも住まわれていた古民家に移住しました。そんな御縁もあり、不定期で年茶屋にておむすびランチを提供しています。

愛川町の良さは、「人」と「自然」。恵まれた暮らしの中で、やりたいことが次から次へと浮かんできます!(佐藤さん)

## 大野さん

2020年  
移住



新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を受け、勤務している会社が全面テレワークとなったことがきっかけで、地元である愛川町へのUターンを決めました。

東京出身の妻は駅から離れた愛川町で暮らすことに、「ちゃんと病院はあるの?」など不安を感じていましたが、愛川町の魅力を伝え説得しました。実際に来てみると、「意外と何でもあるのね」と驚いていました。

2年間、移住生活をしてみて、自然豊かで子育ての補助が手厚い愛川町は、以前住んでいた都会よりも暮らしやすいことが分かりました。

仕事で忙しくなってしまうがちですが、家族の時間を大切にするために、月1回イベントを企画し、町のアスレチックで遊んだり、カフェ巡りなどをして楽しい時間を過ごしています。この先、コロナが落ち着いても地元愛ある愛川町で暮らしていきたいです!

## 「わんぱく自然農園たむそん」田村さん

2012年  
移住



自然農法の農家を志し、都心から近い場所で土地を探していました。

実際に訪れてみて、豊かな自然と探していた自然農法に適した豊かな土地があったので、愛川町に移住を決めました。

移住の際も新規就農者の受け入れを推進している町でするので、大きな苦勞はありませんでした。

今では、収穫した野菜を皆で食べたり、家族そろって楽しめるワークショップを畑で開催し、町の良さを知ってもらう活動もしています。

とても住みやすい町ですよ。移住先としてお勧めです。

## 「Organic Life Vegele」原田さんご家族

2013年  
移住



大学卒業後に有機農業(野菜)を学び、恩師から「就農地は土で選べ!」とアドバイスを受けました。そして、野菜を育てるのに適した、愛川町特有のサラサラで柔らかな黒土に魅力を感じ、都心から近く、販路も潤沢にあったことから移住を決めました。

2年間の農業研修を積み、2015年に起業しました。自宅から畑までは車で10分程度で、近くにスーパーやホームセンターもあり、とても便利です。

地域の消防団にも所属し、知り合いも増え、快適に過ごさせているのが嬉しいです。ゆくゆくは自分の家を建てられたらと思っています。

山も川もあり、空気が綺麗なので、都会から愛川町に帰ってくるのがホッとします。都会で働く人にとっても住みやすい町だと思います!

チカバのイナカ愛川町での暮らしぶりを疑似体験できる連続Webドラマ！！

新居は愛川町  
移住者 佐助  
連続 Webドラマ



YouTube

愛川町チャンネル



スマホユーザー向け愛川町情報サイト！

ポケットに愛川

愛川町の魅力や暮らしに役立つ情報をお届け！



暮らし

観光

町マップ

etc...

町へのアクセス

圏央道・相模原愛川ICから国道129号を  
經由、中津方面へ(約10分)

☎046-285-2111(代)

メール koho@town.aikawa.kanagawa.jp

〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1

愛川町 政策秘書課 秘書広報班